

# 直売所、体験教室、市民農園 大型スーパー跡地に農業施設

アグリメディア

農業体験イベントの企画や市民農園の運営を行う、アグリメディア（諸藤貴志社長、東京都新宿区）は、今月、埼玉県日高市に農業生産者と消費者をつなぐ農業関連の複合施設を開設する。地元農産物の直売や飲食スペース、料理や農業体験教室などを設けるほか市民農園なども運営する予定。都市と地方をつなぐ施設として、幅広い層に利用してもらう狙いだ。

食と農の体験施設「朝採れファーム高麗郷」は、西武池袋線高麗駅徒歩3分の好立地に開設する。大手スーパーの東急ストアが5年前に撤退した建物を借り、2000万円をかけて改修して使用。店舗面積は約500平方メートルで、60台分の駐車場がある。

街の中核商業施設であった大手スーパーがなくなることにより、地域の住民は買い物などに不便していた。都市部での市民農園運営のほか農地活用提案などを行っている同社に建物所有のオーナーから相談があり、今回のファームが実現した。

ファームには、地元で採れた農産物や加工品を販売する同社運営の直売所を設ける。売場には野菜の食べ方やどのような栄養が含まれるかなどを案内する「野菜コンシェルジュ」を置き、消費者とのコミュニケーションを大切にしている方針。



専門スタッフがいる市民農園

青果物は農家からの委託販売で、売量に応じて手数料を生産者が同社に支払うしくみ。青果の搬入は農家が行う。今後、県西部を中心に100軒程度の農家を募っていく計画。

このほか、従業員が手づくりした豆腐やアイスクリーム、飲み物なども販売する。また、ソバ打ち体験や、

農産物加工の一日体験教室なども開く。「シニアから子供まで、幅広い世代が1日遊べる今までにない施設にして行きたい」と同社広報。

2013年度には近隣に野菜の収穫などが体験できるレジャー農園と、地域住民が野菜を栽培できる市民農園を開設する予定。それぞれ3000平方メートル程度の農地を予定しており、今後周辺の耕作放棄地などを借りていく。

また、雇用でも地元貢献。施設を運営するのは同社だが、今後、直売所に出荷する生産者や店舗、地域住民などで構成する運営協議会を設置し、地域に根ざした運営をめざす。